

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

|               |   |     |             |         |
|---------------|---|-----|-------------|---------|
| 科目名(英)        | ジェネリックスキル養成2 (Generic Skills Training 2)  |     | 授業コード       | A032651 |
| 担当教員名         | 鈴木 照夫、吉村 充功   |     | 科目ナンバリングコード | A20802  |
| 配当学年          | 1   | 開講期 | 後期          |         |
| 必修・選択区分       | 選択  | 単位数 | 1           |         |
| 履修上の注意または履修条件 | 2月下旬頃の平日に1泊2日の合宿研修で実施しますので、日程には十分注意してください。合宿地は日本文理大学湯布院研修所(由布市)です。送迎バスを運行します。宿泊等の費用は不要ですが、食費は実費負担です。必要なものについては、別途指示します。 |     |             |         |
| 受講心得          | 県内の大学・短大・高専8大学の学生が合同で合宿研修を行いますので、目的意識を持って、主体的に臨んでください。  |     |             |         |
| 教科書           |   |     |             |         |
| 参考文献及び指定図書    |   |     |             |         |
| 関連科目          | ジェネリックスキル養成1、現代社会要論、社会参画入門、社会参画実習1、大分学・大分楽など  |     |             |         |

|       |  |
|-------|--|
| 授業の目的 | 課題解決型授業(PBL)やインターンシップの取り組みに参加し意義あるものとするため、また社会人として活躍するためには、ジェネリックスキル(汎用的技能)をあらかじめ高めておくことが重要です。本科目では、1泊2日のワークショップ研修を通じて、知識を活用して問題解決する力であるリテラシー能力(思考力・判断力・表現力)を養成することを主目的とします。             |
| 授業の概要 | 本科目は、「大分を創る人材を育成する科目」として、県内の大学・短大・高専8大学の学生が合同で合宿研修を行います。対象とする地域問題に対して、チームで解決策を検討、プレゼンテーションします。提供された資料をもとに、メンバーが異なる資料を読み解き、それを統合して課題発見、解決策の提示を考えます。活動を通じて、リテラシー能力はもとより、大分について考えるきっかけとします。 |

| ○授業計画   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 学修内容  | 学修課題(予習・復習)                           |
| <b>第1回：オリエンテーション、チーム編成</b><br>①科目の趣旨説明<br>②チーム編成、アイスブレイク、基礎力チェックシート等記入<br>③課題説明   | 事前資料について読み込んでください(2時間)。               |
| <b>第2回：資料の読解、共有(情報分析)</b><br>ジグソー学習法による情報分析<br>①個人ワーク…ワークシート記入<br>②専門家グループ会議<br>③グループでのジグソーセッション…情報共有とともに、資料を組み合わせればどのようなことがいえるかをリストアップしていく |                                       |
| <b>第3回：ディスカッション(1)(課題発見)</b><br>①読み取った内容を要約し、図化する<br>②問題を洗い出し、整理・分析する…「論点」を見つける<br>③問題の原因や背景を追求する…「論点」をもとに議論する                              |                                       |
| <b>第4回：ディスカッション(2)(解決策の構想)</b><br>①問題を(当事者意識を持って)自分たちの視点から捉える…「自分事」としてとらえる<br>②自分たちの進む方向性や解決すべき課題を考える<br>③中間報告                              |                                       |
| <b>第5回：プレゼンテーション準備</b><br>①問題を(当事者意識を持って)自分たちの視点から捉える<br>②自分たちの進む方向性や解決すべき課題を考える<br>③パワーポイントにまとめ、グループとして報告できるようにする                          | 当日の活動のふり返りを行い翌日に向けた目標の整理を行って下さい(2時間)。 |
| <b>第6回：プレゼンテーション(1)</b><br>前半チームの発表<br>・各チーム10分以内で発表、発表チーム以外のメンバーは評価シート記入<br>・教員・社会人による評価を実施  |                                       |

|   |                                   |  |
|---|-----------------------------------|--|
| <b>第7回：プレゼンテーション(2)</b><br>後半チームの発表<br>・各チーム10分以内で発表、発表チーム以外のメンバーは評価シート記入<br>・教員・社会人による評価を実施<br>・講評   |                                   |  |
| <b>第8回：リフレクション(ふり返り)・全体総括</b><br>◎プレゼン結果発表<br>◎ふり返り<br>①フリプトーク<br>・「この研修で印象に残っている場面や瞬間」「この研修を通じて自分が学んだと思うこと」「明日から踏み出す一歩」<br>②自己評価シート等記入<br>・フリプトークの内容をシートに記入<br>・ふり返りシート、基礎力チェックシート等記入<br>◎全体総括 |                                   | レポート課題を課します。2日間の活動のふり返りをもとに研修で得たことを今後どのように活かしていくかの目標の整理を行って下さい(4時間)。プレゼン結果をその場でフィードバックします。 |
| <b>授業の運営方法</b>  | (1)授業の形式                          | 「演習等形式」  |
|   | (2)複数担当の場合の方式                     | 「共同担当方式」   |
|   | (3)アクティブ・ラーニング                    | 「アクティブ・ラーニング科目」  |
| <b>地域志向科目</b>   | カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目 |  |
| <b>備考</b>   |                                   |  |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| <b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b> |   |
| <b>【関心・意欲・態度】</b>           | ①チームにおける自己の役割を理解し、それに沿った行動ができる。<br>②大分について考えることができる。                        |
| <b>【知識・理解】</b>              | 対象とする地域課題について必要な知識を獲得し、問題点の分析に活用することができる。                                   |
| <b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>    | ①対象とする地域課題について、自分の意見を述べるができる。<br>②対象とする地域課題に関する解決策について、適切な手段を用いて表現することができる。 |
| <b>【思考・判断・創造】</b>           | リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。                                |

|  |                        |                      |                     |      |
|--|------------------------|----------------------|---------------------|------|
| <b>○成績評価基準(合計100点)</b>   |                        |                      | 合計欄                 | 100点 |
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点  | <b>期末試験・中間確認等(テスト)</b> | <b>レポート・作品等(提出物)</b> | <b>発表・その他(無形成果)</b> |      |
| <b>【関心・意欲・態度】</b><br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。                         |                        |                      | <b>10点</b>          |      |
| <b>【知識・理解】</b><br>※「専門能力(知識の獲得)」を含む。                             |                        | <b>10点</b>           |                     |      |
| <b>【技能・表現・コミュニケーション】</b><br>※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 |                        | <b>10点</b>           | <b>20点</b>          |      |
| <b>【思考・判断・創造】</b><br>※「考え抜く力」を含む。                                |                        | <b>30点</b>           | <b>20点</b>          |      |

**(「人間力」について)**  
 ※以上の観念に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

| 成績評価方法            | 評価の実施方法と達成水準の目安   |
|-------------------|---|
| レポート・作品等<br>(提出物) | 成果物(パワーポイント資料)により、対象とする地域課題について、論理的に表現できているか、リテラシーのプロセスが活用できているかを評価します。   |
| 発表・その他<br>(無形成果)  | ①プレゼンテーションにより、対象とする地域課題およびリテラシーのプロセスについて、わかりやすく表現できているかを評価します。なお、評価の基準(ルーブリック)は当日配布します。<br>②グループワークにおける行動により、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができているか、自分の意見を述べているか、大分について考えるきっかけを得ることができたか、を評価します。 |